

平成 2 9 年 度

帰国生徒入試学生募集要項

横浜国立大学経営学部

添 付 用 紙 (綴込み)

この要項には、次の本学所定の用紙が綴込みで添付されています。

- ① チェックリスト
- ② 入学願書・受験票・写真票
- ③ 身上記録
- ④ 志望理由書
- ⑤ 海外在留証明書
- ⑥ 振替払込受付証明書（お客さま用）貼付用紙
- ⑦ 入学検定料の払込取扱票
- ⑧ 入試関係書類送付用封筒（本人宛）
- ⑨ 出願書類送付用封筒
- ⑩ 住所氏名記入票

目 次

◎経営学部案内	2
1. 概 要	2
2. Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP)	2
◎入学者受入方針・教育目標	3
◎帰国生徒入試学生募集要項	5
1. 募集人員	5
2. 出願要件	5
3. 出願期間	6
4. 入学検定料払込期間	6
5. 出願手続	7
6. 障がい等のある者の出願	9
7. 選抜方法	9
8. 合格者の発表及び通知	9
9. 不合格になった場合に備えての一般入試への出願	10
10. 入学手続	10
11. 帰国生徒入試出願者への注意事項	11
12. 個人情報の取り扱いについて	11

☆帰国生徒入試問い合わせ先

社会科学系経営学務係

TEL 045-339-3663 (平日 9:00~12:45、13:45~17:00)

経営学部案内

1. 概要

本学部は、1967年に設立された東日本の国立大学法人では唯一の経営学部であり、きわめて現代的な視点から研究・教育を行っています。

ビジネス社会では複雑化、情報化、グローバル化が進んでいます。そこで、グローバルな活動・競争のなかでビジネスを位置づけることができる能力（グローバルビジネス即応力）、ビジネスをめぐる課題に対して局所的にはなく全体最適視点で定義し、ソリューションを提案することのできる能力（ビジネス統合分析力）、企業経営の観点から学際的な知を統合し、経済的・社会的価値を創造・普及させることによって社会の変革を実行できる能力（イノベーション力）の育成を目指します。

そうして、特定分野の高い専門性をもつとともに、幅広い専門知識を統合できる「ゼネラリスト」としての能力を養成します。また、大学院博士課程前期・後期、ビジネススクールが併設されていますので、卒業後により高度の専門教育を受けることもできます。

本学部学生の就職状況はきわめて恵まれています。卒業生は民間企業、官庁、大学院等に進み、広く社会に貢献しています。なお、国際交流にも積極的に取り組んでおり、毎年10名程度の交換留学生を派遣しています。

2. Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP)

本学部では平成29年度から経済学部と共同でGlobal Business and Economics 教育プログラム(経済学部・経営学部共同プログラム)：GBEEPを設置します。帰国生徒入試では、GBEEPの選択を希望することができます*1。

本プログラムは以下のような独自の教育体系を用意します。

経営学を主専攻、経済学を副専攻として選択し、経営学に基づく組織・戦略マネジメント能力と会計・財務分析能力、経済学に基づくマクロ的な分析能力と統計処理能力の2つの専門性を修得することで、グローバル企業で活躍できるビジネス・パーソンを目指します。

卒業に必要な単位数は132単位で、通常のプログラム(124単位)よりも多くなります。

英語による専門科目を必修とします。経済学・経営学それぞれで英語で専門知識を修得し、ビジネスの場で使える英語力を身につけます

海外学修が必修です。①海外の協定大学等への留学、②海外の大学でのサマースクールへの参加、③欧州やアジアでの現地学生との英語討論会等を通じて、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。本プログラムでは上記①～③のうち1つ以上の選択が必須となり、その際、渡航費・滞在費等の一部あるいは全額について個人負担を伴います。

①～③の具体的な内容については平成28年度時点のものについて経済学部HP(下記)で紹介しています。

http://www.econ.ynu.ac.jp/international/event/pdf/global_studies_in_economics_2016.pdf

横浜国立大学経済学部→国際交流・留学→国際交流イベント→Global Studies in Economics

*1 ただし、GBEEPの選択を希望して帰国生徒入試に合格しても同プログラムを専攻できない場合があります。

また、GBEEPの選抜では以下の能力を特に評価しますので、留意して下さい。

- (1) 国際コミュニケーション能力
- (2) グローバルな環境下での協働性やリーダーシップ、
- (3) 数学的思考力
- (4) 経済と経営への関心度
- (5) 学修意欲
- (6) 人間性・倫理観
- (9 ページを参照のこと)

入学者受入方針・教育目標

横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

——横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます——

- 真の実力を得たい！
社会においてリーダー的存在になる真の実力を得たい人
- 洞察力を磨きたい！
科学的探究心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究・創造の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人
- 世界の舞台で活躍したい！
国際性溢れる環境の中で、外国人学生と共にコミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人
- 高度な専門知識で社会に貢献したい！
大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語りつつ、柔軟な発想と総合的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会の中核となってグローバルな共生社会に貢献したいと思う人を求めています。

【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の4つの精神—実践性・先進性・開放性・国際性—を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程教育の目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

- (1) 学芸・諸科学に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。
- (2) 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。
- (3) 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。
- (4) 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

※本学の詳細な教育目標・方針については、本学 Web サイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』をご覧ください。(http://www.ynu.ac.jp/education/plan/initiative.html)

経営学部入学者受入方針・教育目標

経営学部では、社会の発展に貢献したい意欲的な学生を求めています。

企業は多面的な要素（ヒト、モノ、カネ、情報）と活動（研究開発、調達、生産、販売など）から構成され、複雑化しています。企業や組織の抱える問題に対する答えを出すのは容易ではありません。その答えを探す努力を惜しまない、次のような学生を求めています。

- 企業をはじめとする各種組織の経営に関する問題に興味のある人
- 興味を持ったら、その中の何かに対して疑問を持てる人
- 疑問を持ったら自ら解決に向かって行動できる人
- その過程で困難に出遭っても積極的に立ち向かえる人

【高等学校で学んでほしいこと】

高等学校では、基礎となる数学、英語を始めとして基本科目をしっかりと学んでください。

【教育目標】

経営学の3つの分野（マネジメント分野、アカウントティング分野、マネジメント・サイエンス分野）を基礎から段階的、分野横断的に学び、それらをグローバルな視点から総括します（グローバルビジネス分野）。特定分野の高い専門性をもつとともに、幅広い専門知識を統合できるゼネラリストとしての能力を修得できるカリキュラムにより、次のような人材の輩出を目指しています。

- 経営学の専門知識および経営に関わる事象を多面的に捉え、グローバルな視点からその本質を理解することができる
- 自分の考えを国内外の場面において論理的に表現し効果的に伝えることができる
- 企業経営の観点から学際的な知を統合したうえで、多様な人々と協力して企画を立案し、イノベーションを実行するためのリーダーシップを発揮することができる
- 局所的視点だけではなく全体最適視点に立ち、経営に関わる課題を発見する能力や、課題を科学的に分析・検討し、実践的に解決することができる
- 社会人として経営について学び続ける探究心や、持続的社会的構築を常に考えて行動する高い倫理観と責任感をもつ

帰国生徒入試学生募集要項

趣 旨

近年、我が国は経済、学術、文化、その他あらゆる分野において急速な発展を遂げ、国際的活動もますます拡大しています。このような情勢のなかで、いわゆる帰国生徒の数も飛躍的に増加しています。これら生徒は、外国における正規の教育制度に基づき学校教育を受けて帰国しても我が国の入学者の選抜方法に充分適応できず、少なからず苦慮しています。

このような状況にかんがみ、本学部は、我が国とは異なる文化的・教育的環境のなかで多様な価値観に接し、優れた国際的視野と感覚を身につけた帰国生徒に対し、門戸を開放したいと考えています。本学部が帰国生徒を受入れ、その教育に務めることは、大学教育の国際化に貢献するのみならず、教育的・社会的見地から考えても有意義なことであると信じています。

以上の趣旨により、次の要領に従って選抜を実施します。

1. 募集人員

経営学科 若干名

うち Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP) 若干名

2. 出願要件

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者で、次の基礎資格を有し、かつ、基礎資格に対応する要件を満たす者

【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

1. 外国において学校教育における12年の課程を平成27年(2015年)4月1日から、平成29年(2017年)3月31日までに卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者
※「外国において学校教育における12年の課程」とは、地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業(修了)により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者(【基礎資格】3を満たす者は除く)については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会すること。
2. 外国の教育制度に基づいて外国に設置された学校から、引き続き日本の高等学校の第3学年若しくは中等教育学校の第6学年に編入学した者で、平成28年(2016年)4月から、平成29年(2017年)3月までに卒業又は卒業見込みの者

3. 外国において次の資格のいずれかを平成27年(2015年)又は平成28年(2016年)に授与された者で、平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達する者
- (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

【要件】

基礎資格に対応する次の要件を満たす者

1. 「基礎資格1.」により出願する場合は、外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて学校暦2年以上継続して学校教育を受けていること
2. 「基礎資格2.」により出願する場合は、外国の教育制度に基づく高等学校に学校暦2年以上継続して在籍した者
3. 「基礎資格3.」により出願する場合は、外国の教育制度に基づく学校において2年以上継続して学校教育を受けた者で、帰国後2年未満であること

※外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

(注1) 上記の基礎資格及び要件を備えた者でも、本学部帰国生徒入試への受験機会は1回とし、過去に受験した者の再受験は認めません。

(注2) 本学他学部の帰国生徒入試(外国学校出身者入試を含む。)との併願は認めません。

3. 出願期間

平成28年10月21日(金)から平成28年10月28日(金)まで

(出願受付は郵便扱いのみとし、平成28年10月28日(金)17時まで必着のこと)

受付期限後到着のものは受理しないので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。

ただし、平成28年10月27日(木)までの発信局消印のある書留に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

(注)土曜日、日曜日、祝日は郵便業務を行わない郵便局があるので事前に確認してください。

4. 入学検定料払込期間

出願期間に間に合うように払い込んでください。

払込場所：郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口

(注1) 入学検定料の払い込みは必ず、本冊子綴り込みの「払込取扱票」を使用してください。

(注2) 土曜日、日曜日、祝日は払い込みができませんので注意してください。

(注3) 払い込み済みの「振替払込受付証明書(お客さま用)」は本学所定の貼付用紙に貼り付けて、出願書類と一緒に同封してください。

5. 出願手続

(1) 出願書類

ア	チェックリスト	本学所定の用紙
イ	入学願書・受験票・ 写真票	本学所定の用紙 Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP) を第1志望として希望するか否かについて、入学願書該当欄の「 <input type="checkbox"/> 希望する」「 <input type="checkbox"/> 希望しない」いずれかの <input type="checkbox"/> に <input checked="" type="checkbox"/> を記入してください。ただし「 <input type="checkbox"/> 希望する」を選択して帰国生徒入試に合格しても同プログラムを専攻できない場合があります。
ウ	写 真	2 枚 提出前 3 ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽 (縦 4cm×横 3cm) の同一写真を受験票と写真票に貼付してください。
エ	最終出身学校の卒業 (修了) 証明書又は 卒業 (修了) 見込証明書	出身学校長が作成したもの。
オ	最終出身学校の成績証 明書	出身学校長が作成したもの。 ただし、日本の高等学校又は中等教育学校後期課程に在学したことがある場合は、当該学校長が作成した所定の調査書も併せて提出してください。
カ	国際バカロレア・アビ トゥア・バカロレアの 資格証書等 (該当者のみ提出)	出願資格の【基礎資格】 3. (1)に該当する者 ①国際バカロレア資格証書「International Baccalaureate Diploma」の写し ②IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書
		出願資格の【基礎資格】 3. (2)に該当する者 ①成績の記載されている一般的大学入学資格証明書「Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife」(原本の写しであることを証明済のもの) ※原本の写しであることの証明は、あらかじめ、本学経営学部もしくは在外公館等公的機関で受けてください。
		出願資格の【基礎資格】 3. (3)に該当する者 ①バカロレア資格証書「Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré」の写し ②バカロレア資格試験成績証明書「Relevé des Notes」
キ	国際的な評価団体に係 る書類 (該当者のみ提出)	次の 1～3 のいずれかの評価団体から教育活動等に係る認定を受けた学校を卒業した者は、認定を受けていることについて当該学校が証明する書類を提出してください。 1. Western Association of Schools and Colleges (WASC) 2. Association of Christian Schools International (ACSI)

	<p>3. Council of International Schools (CIS)</p> <p>注. これらの評価団体から認定を受けている旨記載がある学校案内等（当該学校が発行のもの）の提出でも構いません。</p>	
ク	志望理由書	本学所定の用紙に自筆で記入してください。
ケ	身上記録	本学所定の用紙
コ	海外在留証明書	本学所定の用紙※2 保護者の所属する機関の長が作成したものとし、在留期間及び在留地に保護者とともに在留したことを明記してください。
サ	パスポートの写し	志願者本人のパスポートの写し（ <u>国籍が記載された部分</u> ）を提出してください。
シ	入学検定料	<p>払込金額 17,000 円</p> <p>入学検定料の払い込みは、必ず本冊子綴じ込みの「払込取扱票」を使用してください。</p> <p>注 1. 「払込取扱票」の※に、入学志願者（本人）の住所・氏名・電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。</p> <p>注 2. 「振替払込請求書兼受領証」および「振替払込受付証明書(お客さま用)」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局日附印を確認してください。</p> <p>注 3. 入学検定料が払い込まれていない場合または払い込み済みの「振替払込受付証明書(お客さま用)」を所定の貼付用紙の欄に貼り付けていない場合は出願を受理しません。</p> <p>注 4. 本学では、災害等で被災した受験生の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は http://www.ynu.ac.jp/exam/index.html をご確認ください。</p>
ス	振替払込受付証明書 (お客さま用)貼付用紙	本学所定の用紙 入学検定料を払い込んだ際に郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼付してください。
セ	返信用封筒：長形3号	本学所定の封筒1通 本要項に綴じ込みの封筒に住所・氏名等を記入し、372円分の切手を貼付してください。
ソ	住所氏名記入票	本学所定の用紙
タ	在留カードの写し (外国籍者のみ提出)	両面をコピーして提出してください。

※1 提出すべき書類のうち外国の学校又は機関が作成した英文以外の外国語文の書類については、日本語訳を添付してください。

※2 「海外在留証明書」については、本学 Web サイトにて公開している募集要項の PDF をダウンロードし、印刷したものを使用しても構いません。

(2) 出願方法

出願書類等は、志願者個々の出願書類を本学所定の出願書類送付用封筒（角形 2 号）に入れ、「書留」で郵送してください。

(3) 出願書類の郵送先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 4 号
横浜国立大学社会科学系経営学務係

6. 障がい等のある者の出願

入学を志願する者で、障がい等があり受験上、修学上で配慮が必要と思われる者は、出願に際し、あらかじめ経営学務係まで申し出てください。

7. 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、以下の方法により行います。

(1) 入学者の選抜は、小論文・面接による試験と志望理由書・成績証明書を総合して行います。

小論文では、経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。

面接では、複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。

*Global Business and Economics 教育プログラムを希望する場合は、上記の点に加え以下の能力を特に評価します。

- (1)国際コミュニケーション能力 (2)グローバルな環境下での協働性やリーダーシップ
(3)数学的思考力 (4)経済と経営への関心度 (5)学修意欲 (6)人間性・倫理観

(2) 小論文・面接試験の日時・場所

期 日	区 分	時 間	場 所
平成 28 年 12 月 5 日（月）	小論文	10：00～12：00	経営学部
	面 接	13：00～	

8. 合格者の発表及び通知

平成 28 年 12 月 15 日（木）13 時ごろに、合格者にのみ合格通知書及び入学手続書類等を発送するとともに、本学 Web サイトに合格者受験番号を掲載します。

(URL <http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>)

(注 1) 本学構内における合格者受験番号の掲示発表は行いません。

(注 2) 電話による合否照会には応じません。

(注 3) 掲載期間は、4 日間程度です。

9. 不合格になった場合に備えての一般入試への出願

出願者は、選抜の結果、不合格となった場合に備えて、大学入試センター試験を受験した者に限り国公立大学について、「前期日程」から1つ、「公立大学中期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計3つの大学・学部にも出願することができます。

なお、不合格となった者で、本学部の一般の入学試験に出願する場合は、平成29年度大学入試センター試験（5教科6科目又は5教科7科目）を受験のうえ、平成28年11月中旬に配布する本学の学生募集要項により出願手続を取ってください。（個別学力検査等の出願に際しては新たに検定料を納入しなければなりません。）

10. 入学手続

帰国生徒入試の合格通知を受けた者は、入学手続を所定の期間内に完了してください。

(1) 入学手続期間

平成28年12月19日（月）から平成28年12月26日（月）まで（必着）

(2) 入学手続方法

ア 入学手続は、すべて郵便扱いにより行います。入学手続をする際は、合格通知書に同封する「入学の手続きについて」を参照の上、入学手続期間内に必着するよう所定の封筒を使用して、社会科学系経営学務係宛に「書留・速達」で郵送してください。

イ 入学手続書類の郵送先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番4号
横浜国立大学社会科学系経営学務係

(3) 入学手続に必要な経費

入学料 282,000円〔現行〕

（注1）入学料は、改定される場合があります。

（注2）詳細は入学手続書類と一緒に送付します。

(4) 入学手続の注意事項

帰国生徒入試合格者が、入学手続期間最終日までに「入学手続」を完了しない場合は、帰国生徒入試合格者としての資格を失います。

(5) 授業料

半期分 267,900円（年額 535,800円）〔現行〕

（注1）授業料は、改定される場合があります。

（注2）在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されません。

11. 帰国生徒入試出願者への注意事項

- (1) 出願書類に虚偽の記載をした者については、入学許可の後でもこれを取り消します。
- (2) 出願書類について、不備がある場合は受理しません。
- (3) 出願後は、提出済みの書類は一切返還しません。
- (4) 出願後に現住所・連絡先等を変更した場合は、必ず経営学務係へ連絡してください。
- (5) 帰国生徒入試の合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じません。
- (6) 合格発表日から1週間以上過ぎても書類が到着しない合格者は、経営学務係へ問い合わせてください。
- (7) 出願者に対する宿泊施設等の斡旋は、一切行いません。
- (8) 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払い込み済の検定料は返還いたしません。

ア 検定料の返還請求ができるもの

- (ア) 検定料を払い込んだが帰国生徒入試に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

イ 返還請求の方法

①返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号を明記した「検定料返還請求願（様式は問わない）」を作成し、必ず「振替払込受付証明書（お客さま用）」を添付して、経営学務係へ速やかに郵送してください。

送付先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 4 号
横浜国立大学社会科学系経営学務係

12. 個人情報の取り扱いについて

志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究の資料としても利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

注意！！

試験日や下見時に、本学周辺（特に岡沢町バス停から正門までの間にある通路・階段など）や最寄り駅（和田町、三ツ沢上町、横浜）で、本学職員を装って受験生を誘導・整理し、受験番号・住所・氏名・電話番号を記入させた後に「現金」を請求する者がいますが、これらの者と本学とは一切関係がありませんので、十分に注意してください。

※印は記入しないでください。

受験番号	※
------	---

年 月 日

横浜国立大学経営学部帰国生徒入試
海外在留証明書

横浜国立大学長殿

機関(勤務先)所在地

機関(勤務先)名

(社印)

責任者役職名及び氏名

印

志願者（ ）は、下記のとおり、保護者*（ ）に同行し、海外に在留したことを証明します。

記

1. 志願者滞在期間 年 月 日 より
年 月 日 まで

(年 ヶ月間)

2. 保護者滞在期間 年 月 日 より
年 月 日 まで

(年 ヶ月間)

3. 在留所在地

4. 在留者名

(氏名)

(続柄)

①

志願者本人

②

③

* 保護者が両親以外の場合は、理由等 (A4 版、様式自由) を添付してください。

* 問い合わせ先 : 社会科学系経営学務係 TEL 045-339-3663 (平日 9 : 00~12 : 45、13 : 45~17 : 00)